

令和5年

新年を迎えよう

市長新年あいさつ

明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年6月に行われました第19回苦小牧市長選挙の結果を受けて、5期目の市政を担うこととなりました。市民の皆さまから寄せられた期待にしっかりとお応えできるよう、誠心誠意、全力でふるさと苦小牧の市政運営にあたってまいります。

新型コロナウイルス感染症につきましては、感染拡大を防ぐため、日々ご尽力をいただいている医療・介護従事者の皆さま、感染症の拡大防止にご協力をいただいている市民及び市内事業者の皆さまに、心よりお礼を申し上げます。

本市としましては、市内の感染状況を注視しながら、社会経済活動の維持と医療提供体制確保の両立を図ってまいりますので、市民の皆さまには、基本的な感染対策を徹底していただき、引き続きのご協力をよろしくお願い申し上げます。

現在は、重症化を防ぐべく、オミクロン株対応ワクチンの接種を実施しておりますので、ワクチン接種を希望される方におかれましては、早めの接種をお願いいたします。

昨年は、北京2022冬季オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、躍動するアスリートの姿がコロナ禍にある世界中の人に勇気と感動を与えました。とりわけ、本市にゆかりのある選手が多数選出されたアイスホッケー女子日本代表スマイルジャパンが、グループリーグを首位で突破し、6位入賞の活躍をされたことは、アイスホッケータウンとしてうれしい話題となりました。

また、プロ野球のドラフト会議におきましては、苦小牧中央高校の斉藤優汰投手が広島東洋カープから、本市出身で専修大学の菊地更玖投手が千葉ロッテマリーンズから、それぞれ1位指名されました。全国で最初にスポーツ都市宣言を行った本市としても、大変誇らしいことであり、選手や関係者の皆さまには、改めて敬意を表するとともに、お二人のこれからの活躍を期待しております。



苦小牧市長

いわ くら ひろ ふみ
岩倉 博文